第４回 関東高等学校選抜柔道大会 要項

１.主催　関東柔道連合会　(公財)東京都柔道連盟　関東高等学校体育連盟

２.主管　埼玉県柔道連盟　埼玉県高等学校体育連盟柔道専門部

３.名称　第４回関東高等学校選抜柔道大会

４.期間　令和８年１０月３０日(金) ～ １１月１日(日)

１０月３０日(金)　１０:００　前日練習・男子計量・監督会議
１０月３１日(土)　　９:３０　開会式（男子のみ)・男子個人７階級(決勝まで)・表彰式
女子計量
１１月　１日(日)　　９:３０　女子個人７階級(決勝まで)・表彰式・閉会式

５.会場　リプロ武道館（埼玉県立武道館）　　〒362-0032　埼玉県上尾市日の出４－１８７７

６.競技規則・競技方法

(１)国際柔道連盟試合審判規程（２０２５）ならびに(公財)全国高等学校体育連盟柔道専門部申し合わせ事項によって行う。

(２)優勢勝ちの判定基準は「有効」または「僅差」(「指導」差２つ)以上とする。試合終了時に得点 差がない場合は、ゴールデンスコア方式の延長戦を行う。延長戦は、「有効」以上の得点があった時点、又は「指導」の数に差が出た時点で試合終了とする。

(３)試合時間は４分間とする。但し、延長戦(ゴールデンスコア)は時間制限を設けない。

(４)試合は、トーナメント戦とする。

※「指導」の累積により両者が同時に「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、ゴールデンスコア方式の延長戦において、勝敗を決する。延長戦で、「指導」の累積により両者が同時に「反則負け」 となった場合は、スコアをリセットして、再度ゴールデンスコア方式の延長戦を行い、必ず勝敗を決する。このことは、１回戦から決勝戦までのすべての試合に適用する。

７.引率・監督

(１)引率責任者は校長が認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第７８条の２に示された者)も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は各都県高等学校体育連盟会長に事前に届け出ること。

(２)監督・コーチ等は、校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。但し、各都県における規程があり、引率・監督者がこの基準より限定された範囲内であれば、その規程に従うことを原則とする。

８.参加資格

(１)選手は、学校教育法第１条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒である。但し、休学中、留学中の生徒を除く。 また同一校からの出場は各階級２名までとする。

(２)選手は、各都県高等学校体育連盟に加盟している学校の生徒で、柔道専門部に登録し、当該競技実施要項により参加資格を得た者に限る。

(３)２０２６(令和８)年度、各都県柔道連盟(協会)を経て、(公財)全日本柔道連盟に登録を完了した者とする。

(４)年齢は、２００８(平成２０)年４月２日以降に生まれた者で、在籍学年が１学年または２学年の者とする。但し、出場は同一競技２回までとし、 同一学年での出場は１回限りとする(「出場」とは登録やエントリーではなく、試合への出場回数を指し、柔道専門部が責任を持って調整・確認する)。

(５)転校・転籍後６か月未満の者は、参加を認めない(外国人留学生もこれに準ずる)。但し、一家転住

などやむを得ない場合は、各都県高等学校体育連盟会長の認可があればこの限りではない。

（６）出場する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長及び所属高等学校体育連盟会長の承認を必要とする。

（７）参加資格の特例

ア 上記（１）（２）に定める生徒以外で、当該競技実施要項により大会参加資格を満たすと判断され、都県高等学校体育連盟会長が推薦した生徒については、別に定める規程に従い大会参加を認める。

イ 上記（４）の但し書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一.競技２回までとする。

（８）外国人留学生については、卒業を目的とし入学していること（短期留学は認めない）。

（９）脳しんとうの対応について、選手及び指導者は、次の事項を遵守すること。

ア 大会前１か月以内に脳しんとうを受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、医師から出場の許可を得ること。

イ 大会中、脳しんとうを受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。なお、 前の者は、至急、専門医（脳神経外科）の精査を受けること。

ウ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、医師から出場の許可を得ること。

エ 当該選手の指導者は、大会事務局及び（公財）全日本柔道連盟に対し、書面により事故報告書を提出すること。

(10)皮膚真菌症（トンズランス感染症）の対応については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な 治療を行うこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。

【大会参加資格の別途に定める規定】

１ 学校教育法第７２条、１１５条、１２４条及び１３４条の学校に在籍し、都県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。

２ 以下の条件を具備すること。

（１）大会参加資格を認める条件

ア 関東高等学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。

イ 参加を希望する特別支援学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校にあっては、学齢・修業年限とも高等学校と一致していること。

ウ 各学校にあっては、都県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ、関東大会への出場条件が満たされていること。

エ 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失することなく、運営が 適切であること。

（２）大会参加に際して守るべき条件

ア 関東高等学校体育大会開催基準要項を厳守し、競技種目大会申し合わせ事項に従うとともに大会の円滑な運営に協力すること。

イ 大会参加に際しては、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。

ウ 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

9．参加制限

（1）男子個人試合

ア　各都県の編成は、男子代表監督１名（原則として各校の引率者から選出）、選手２８名（各階級４名ずつ）とする。

イ　開催地は選手３５名（各階級５名ずつ）とする。

ウ　体重別区分は次の７階級とする。

〔６０kg 級・６６kg 級・７３kg 級・８１kg 級・９０kg 級・１００kg 級・１００kg 超級〕

エ　外国人留学生の参加人数の制限は設けない。

（2）女子個人試合

ア　各都県の編成は選手２１名（各階級３名ずつ）とする。

イ　開催地は選手２８名（各階級４名ずつ）とする。

ウ　体重別区分は次の７階級とする。

〔４８kg 級・５２kg 級・５７kg 級・６３kg 級・７０kg 級・７８kg 級・７８kg 超級〕

エ　外国人留学生の参加人数の制限は設けない。

10. 表彰　各階級上位４選手に賞状ならびにメダル、上位８選手に賞状を授与する。

11. 組み合わせ会議

（1）期　日　令和８年１０月１７日（土）　１３：００～　（Web 会議）

（2）抽　選　関東高等学校体育連盟柔道専門部の責任抽選により組合せを決定する。

12. 参加料・協力金

１名５，０００円（参加料３，０００円・協力金２，０００円）を**１０月９日（金）**１３時までに下記口座へ振り込むこと。

指定銀行	埼玉縣信用金庫・春日部西口支店
口座番号	普通　３４１０４５５
口座名	令和８年度関東高等学校柔道大会事務局　委員長　吉井誠

13. 参加申込

大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはない。

（１）申込み方法

ア各出場校は、申込書を３部作成し、１部を出場校の控えとする。

イ各都県代表委員は、各出場校からの申込書２部をとりまとめ、１部を各都県で保管し、１部を大会事務局へ簡易書留郵便で送付する（必ず各都県で一括してまとめ、申し込むこと。学校単位での申込みは受け付けない）。

ウ各都県代表委員は、大会役員・審判員及び予選順位を記入した申込書を２部作成する。１部を大会事務局に送付（郵送およびメール送信）し、１部を控えとする。

［※メール送信は１０月５日（月）１３：００まで］

エ　大会参加料は、各都県で一括してまとめ、大会事務局の銀行口座に振り込む。

（２）申込み手順および注意事項

ア．インターネット上の大会ホームページ（https://senbatsu.kantohs-judo.jp/）から申込み手順を確認する。必要事項を入力し、申込書を作成する。

イ．ユーザー名とパスワードは、別途出場校に連絡する。

ウ．申込書作成にＰＣメールアドレスを用意しておくこと。

エ．必要事項を入力する際には、入力モード（全角、半角英数字等）に従うこと。

オ．申込み期限後、インターネット上の申込みページを閉鎖する。

（３）申込み締め切り

１０月９日（金）までに必着のこと。

［ネットによる申込み手続きは、１０月５日（月）１３：００まで：厳守］

14. 連絡事項

（１）競技中の疾病、傷害等の応急処置は主催者側で行うが、その後の責任は負わない。なお、参加者(選手・監督)は、健康保険証を持参すること。

（２）日本スポーツ振興センター災害共済給付金の申請書の準備等については、各学校及び引率責任者において行うこと。

（３）選手の変更について

申込参加者に変更が生じた場合は、１０月２２日(金)までに大会実行委員会事務局へ郵送する。それ以降については、下記の日時に指定の場所へ届け出ること。

男子：　１０月３０日（金）１１：３０～１２：００に大会本部へ届け出ること。

女子：　１０月３１日（土）１１：３０～１２：００に大会本部へ届け出ること。

（４）無届けで棄権した場合は、当該都道府県の翌年の出場を認めないこともある。

（５）申込不備による問い合わせの諸経費は、当該都道府県の負担とする。

（６）選手は必ず、当該校の引率責任者に引率され、引率責任者は選手すべての行動に対し責任を負うものとする。

（７）監督は審判員を兼ねることはできない。ただし、急な選手変更など、やむを得ない場合は委員長会議で判断する。

（８）選手はゼッケンを縫い付けた柔道衣、帯を着用すること（２０１７年４月 IJF 新規定）

（９）試合者(自身)が赤の場合、青柔道衣を着用してもよい。ただしルール上問題のないものとする。青柔道衣で試合する場合、赤紐は付けなくてよい。対戦相手の選手も白紐は付けなくてよい。

(10)前年度優勝者には大会協賛者よりゴールドゼッケンが贈呈される。着用については任意とする

(11)車で来場の際は上尾市運動公園（旧上尾水上公園）駐車場を利用する事ができる。ただし隣接するアイスアリーナ専用駐車場は利用できないので注意すること。

(12)宿泊・昼食弁当については、旅行業者を通し、以下の内容で申込むことができる。申込みについては、大会ホームページ上から各校で申込むこと。

＜宿泊・昼食弁当＞

ア　選手・監督・役員の宿泊については、大会事務局の指定した斡旋業者を通じて申し込むことを推奨する。(各種イベントやスポーツ大会等と日程が重なり、ホテルの予約が難しく、宿泊料金高騰の恐れがあるため)

15. その他・主な日程

（１）１０月２９日（木）１８:００～１９:００　審判会議（WEB 会議）

（２）１０月３０日（金）１０：００～　開場

１０：００～１４：３０　前日練習（男女可）

１２：３０～１３：１５　委員長会議

１２：００～１３：００　予備計量（男子のみ）

１３：００～１３：３０　本計量（男子のみ）

１３：４５～１４：１５　監督会議（男子代表監督のみ）

１４：３０～１６：３０　会場整理・役員打ち合わせ

（3）１０月３１日（土）　８：００～　　選手・監督入場
８：００～　９：１５　アップ 主道場・１階 第一道場
９：３０～　　開会式（男子のみ）
９：４５～　　男子個人試合(決勝まで)
１０：００～１４：３０　前日練習（女子：第一道場）
１２：３０～１３：００　予備計量（女子のみ：２F 剣道場）
１３：００～１３：３０　本計量（女子のみ：２F 剣道場）
１６：００～　　男子表彰式

（4）１１月　１日（日）　８：００～　　選手・監督入場
８：００～　９：２０　アップ ２階メイン道場/１階サブ道場
９：３０～　　開始宣言
女子個人試合(決勝まで)
１４：００～　　女子表彰式・閉会式
閉会式の参加は女子入賞者(ベスト８)のみ

16. 公式計量

（1）男子：１０月３０日(金)　１２：３０～１３：００まで予備計量
１３：００～１３：３０まで公式計量（１回のみ）
女子：１０月３１日(土)　１２：３０～１３：００まで予備計量。
１３：００～１３：３０まで公式計量(１回のみ)
（2）計量にパスしない者は出場できない。
（3）計量場所は、男子：１階　屋内相撲場 ／ 女子：２階　第二道場（剣道場）

17. 諸会議

会議名	期日	時間	会場
審判会議	１０月２９日（木）	１８：００～１９：００	Web 会議
委員長会議	１０月３０日（金）	１２：３０～１３：１５	１階　第三会議室
男子代表監督会議	１０月３０日（金）	１３：４５～１４：１５	１階　第一・二会議室

※女子監督会議は行いません。選手変更等の資料は、各都県の委員長を通じてご連絡いたします。

18. 大会実行委員会事務局及び連絡先

事務局長 小森　辰弥（埼玉県立久喜工業高等学校）
〒３４６－０００２　埼玉県久喜市野久喜４７４
電話番号：0480-21-0761　メール：saitama2026kantojudo@gmail.com